

児童朝会 校長の話 11月15日

地球がどんどん暖かくなっているのは知っていますか。地球温暖化と言っていますね。夏には日本でも気温が40度近くまで上がったり、9月、10月でも熱中症にかかる危険性があったりしますね。温暖化による異常気象で、大雨が長く続いたり、かつて無いほどの大きな台風が来たりして、日本各地で毎年、洪水の被害が出ています。町全体が水に浸かってしまった写真です。



一方、雨が長い間全然降らなくて、畑の作物が枯れてしまったり、もう何年も作物が取れなかったりすることが起きています。これはアメリカのトウモロコシ畑の写真ですが見渡す限りのトウモロコシが枯れています。

また、山が乾燥して山火事が起き、消火活動をしても何ヶ月も消えずに燃え続けている国があります。写真はオーストラリアですが、山や森に住むコアラやカンガルーがやけどを負ったり命を落としたりしています。



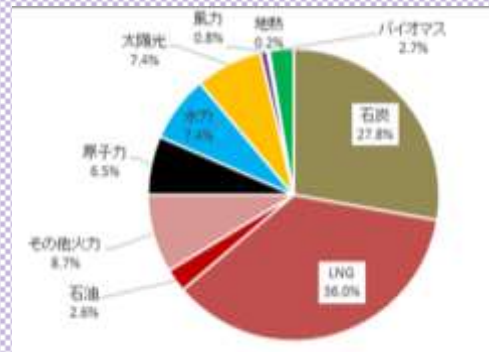
このまま地球の気温が上昇し続けると、2100年には平均気温が2.7度上昇し、世界で10億人が命を奪われることになり、安心して住める地球ではなくなってしまうと言われています。

そこで今 COP26 という世界197カ国が集まってイギリスで会議を行っています。世界が協力して目標を決め、それぞれの国で取り組んでいくためのルール作りをしています。けれども、各国が自分の国の主張を行いなかなか話がまとまらず、先週の金曜日で終わるはず

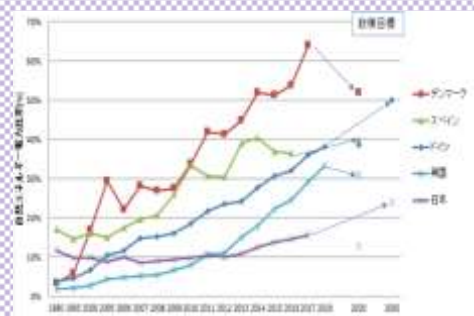
が、会期を延ばして話し合っています。

温暖化の原因には、石炭を燃やす事があります。石炭を燃やすと空気中に二酸化炭素が出され、それが気温上昇を引き起こします。

日本では電気を作るために石炭や液化天然ガス、石油を燃やしています。電力を作り出すのに60%~70%



をそれに頼っています。けれども、石炭も液化天然ガスも石油も燃やすと二酸化炭素を発生し、温暖化の原因を作っています。そこで、世界では2030年代のうちに石炭を使うのをゼロにしようという目標を立てることにしました。アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、カナダ、イタリア、インドなど多くの国が賛同しましたが、残念ながら日本は減らす努力はするけれども、ゼロにはできないと答え、非難を浴びています。今まで石炭火力に頼ってきたので、ゼロにしてしまうと日本全国に安定して電気を送れなくなるからです。



太陽光や風力、地熱による発電は自然エネルギーと言われているのですが、日本ではほとんど進んでいません。デ

ンマークやスペインのように2030年や2050年に電力の100%を自然エネルギーにするという国もあります。(2021発表)

このような状況の中で、世界の若者たちが立ち上がって、世界が協力して、今すぐ具体的



行動を変えていかなくては、温暖化は防げないとデモ行進をしました。COP26が開催されているイギリスに2万5000人の若者が集まりました。

日本の若者も、イギリスで「日本は、

石炭火力発電をゼロにしよう」と訴えました。同時に日本国内でも20カ所で、デモや街頭演説が行われました。自分た



ちのよりよい社会、よりよい地球を作っていくために、行動を起こした若者たちに勇気づけられます。

皆さんも、自分から行動を起こして、社会を変えていく若者へと成長していった欲しいと思いました。